

各教育事務所の調査結果

八代教育事務所

- 1 教科に関する調査の結果
 - (1) 教科に関する調査の結果概要
 - (2) 教科に関する調査の成果と課題（小学校、中学校）
- 2 質問紙調査の結果
 - (1) 児童生徒に対する調査の主な結果
 - (2) 学校に対する調査の主な結果
 - (3) 質問紙調査に関する成果と課題
- 3 今後の重点取組

1－（1）教科に関する調査の結果概要

本管内の概要

- ・小学校では、国語、算数ともに全国平均を上回っている。
- ・中学校では、国語、数学ともに全国平均を下回っている。

【小学校6年生】		
	国語	算数
管内	67%	71%
県	66%	70%
全国	64.7%	70.2%

【中学校3年生】		
	国語	数学
管内	62%	55%
県	64%	55%
全国	64.6%	57.2%

※表中の数値は平均正答率（％）、県の値は国から整数値で公表

1－(2) 教科に関する調査の成果と課題（小学校）

成 果

国語 成果が見られた内容

- 目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること【問題番号 3二】
- 文の中における主語と述語との関係を捉えること【問題番号 3三(2)イ】
- 文の中における修飾と被修飾との関係を捉えること【問題番号 3三(2)オ】

算数 成果が見られた内容

- 三角形の面積の求め方について理解していること【問題番号 2(1)】
- 小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できること【問題番号 4(3)】

課 題

国語 課題が見られた内容

- 文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握すること【問題番号 2一】
- 目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けること【問題番号 2三】
- 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること【問題番号 2四】

算数 課題が見られた内容

- データを二次元の表に分類整理すること【問題番号 3(3)】

1－(2) 教科に関する調査の成果と課題（中学校）

成 果

国語 成果が見られた内容

- 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつこと【問題番号 3四】

数学 成果が見られた内容

- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること【問題番号 7(2)】
- ヒストグラムからある階級の度数を読み取ること【問題番号 8(1)】

課 題

国語 課題が見られた内容

- 文脈の中における語句の意味を理解すること【問題番号 3一】
- 事象や行為などを表す多様な語句について理解すること【問題番号 4二】

数学 課題が見られた内容

- 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること【問題番号 6(2)】
- 平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になること理由を説明すること【問題番号 9(1)】

2 - (1) 児童生徒に対する調査の主な結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
慣等 基本的 生活習	朝食を毎日食べていますか	93.3	95.1	94.9	93.9	94.2	92.8
	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	89.4	91.3	90.4	93.9	93.3	92.7
	普段（月曜日から金曜日）、一日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます。）をしますか（「4時間以上」+「3時間以上、4時間より少ない」の割合）	32.2	28.3	29.0	24.8	25.2	32.3
規挑 範戦 意心 識、 達成感、 自己有用感等	自分には、よいところがあると思いますか	74.1	76.1	76.9	74.1	74.4	76.2
	将来の夢や目標をもっていますか	80.1	80.3	80.3	70.1	69.5	68.6
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.6	96.6	96.8	96.7	96.8	95.9
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.0	95.5	95.5	96.2	95.9	95.0
	学校に行くのは楽しいと思いますか	86.7	87.3	83.4	86.4	85.3	81.1
	自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか	65.7	69.5	70.3	71.6	74.7	75.2
学 習 習 慣 等	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含みます。）	72.3	73.0	74.0	61.1	61.2	63.5
	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます。）（小学校は「30分以上」、中学校は「1時間以上」の割合）	85.9	88.1	87.0	70.7	72.2	75.9
	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。）（「2時間以上」+「1時間以上、2時間より少ない」+「30分以上、1時間より少ない」+「10分以上、30分より少ない」の割合）	57.5	60.5	61.2	46.1	45.8	50.1

※質問項目の中から抽出

2 - (1) 児童生徒に対する調査の主な結果②

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
社会 地域 や	今住んでいる地域の行事に参加していますか	60.8	61.0	58.1	42.4	43.3	43.7
	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか	53.2	53.4	52.4	43.1	44.0	43.8
の I C T 機 器 の 活 用	あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか（「ほぼ毎日」+「週1回以上」の割合）	41.2	56.6	39.0	48.8	51.2	34.8
	学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	93.4	95.4	94.5	91.5	94.8	93.2
か ら の 授 業 改 善 主 体 的 ・ 対 話 的 で 深 い 学 び の 視 点	学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか	76.8	80.1	82.6	77.3	80.4	83.7
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか	52.3	57.7	63.5	48.6	52.2	62.0
	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	76.1	77.2	78.2	79.1	77.8	81.0
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか	75.0	76.7	78.8	74.2	76.1	77.8
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	76.8	78.3	78.3	71.8	73.0	74.6
	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいましたか	73.4	73.2	73.0	73.3	69.8	70.2
響 ル 新 型 コ ロ ナ ウ イ の 影 響	多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか	50.4	50.6	55.2	59.9	57.9	62.8
	多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか	65.0	66.3	64.6	35.4	36.8	37.6
	多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか	58.8	63.7	63.1	44.3	49.4	48.4

※質問項目の中から抽出

2 - (2) 学校に対する調査の主な結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
生徒指導	調査対象学年の児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	92.3	90.7	88.5	100.0	91.0	96.0
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組をどの程度行いましたか	100.0	99.4	98.7	100.0	99.4	98.6
学校運営、教員の資質向上に関する状況	校長として、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか	84.6	82.3	73.9	70.6	62.8	55.5
	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	88.4	94.9	94.4	88.2	90.4	90.6
	児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	100.0	96.7	93.6	94.2	92.2	92.7
	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	100.0	98.8	98.5	94.1	98.2	97.2
主体的・対話的で深い学びに関する視点・取組の状況	調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	92.3	88.0	85.3	88.3	83.3	86.0
	調査対象学年の児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	69.3	62.3	68.3	53.0	73.7	75.6
	調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	69.2	74.4	75.8	64.7	78.5	83.6
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	92.3	91.0	88.1	88.3	91.7	86.9
家庭学習	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（教科共通）	96.1	90.9	90.6	88.2	89.8	85.5
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（教科共通）	96.2	96.1	95.5	88.3	95.8	91.9

※質問項目の中から抽出

2 - (2) 学校に対する調査の主な結果②

数値は、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
ICT	コンピューターなどのICT機器を活用した取組を教職員と児童〔生徒〕がやり取りする場面ではどの程度行っていますか。（「よく活用している」+「どちらかといえば活用している」の割合）	53.8	68.7	44.7	52.9	59.9	41.5
	コンピューターなどのICT機器を活用した取組を児童〔生徒〕同士がやり取りする場面ではどの程度行っていますか。（「よく活用している」+「どちらかといえば活用している」の割合）	30.7	50.6	30.1	29.4	39.5	25.8
小中連携	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	69.2	65.7	59.1	70.6	76.6	65.0
	平成31年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校（小学校）と成果や課題を共有しましたか	65.3	52.7	48.1	47.1	57.5	48.5
中等の全学調 活果	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	100.0	98.8	88.7	100.0	94.6	85.8
新型コロナウイルス感染症の影響	学校の全部を休業としていた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか（「全校で実施」+「一部の学年・学級で実施」の割合）						
	・教科書に基づく学習内容の提示	100.0	98.1	93.4	100.0	99.4	92.5
	・学校が作成したプリント等を配布（電子メールや学校のHP等を活用して配信する場合を含む）	100.0	96.9	95.7	100.0	96.4	95.3
	・教科書会社やその他民間が作成したプリント等を配布（電子メールや学校のHP等を活用して配信する場合を含む）	96.2	90.4	85.8	70.6	77.8	69.6
	・児童生徒の自由研究や自主学習ノート等の学習	84.6	91.6	85.0	76.5	81.4	74.1
	・学校が作成した学習動画等を活用した学習	11.5	33.1	23.2	17.6	33.6	26.7
	・同時双方向型オンライン指導を通じた学習	0.0	29.2	5.7	0.0	22.8	7.4

※質問項目の中から抽出

2 – (3) 質問紙調査に関する成果と課題

【児童生徒に対する調査から】

- 「学校に行くのは楽しい」と回答した児童生徒の割合は、小中ともに全国平均を上回っている。
- 「学校で、ICT機器を、他の児童生徒と意見を交換したり、調べたりするために使用している」と回答した児童生徒の割合は、中学校では全国平均を大きく上回っている。
- 家で計画を立てて勉強することや家庭学習時間は、小中ともに全国平均を下回っている。家庭学習時間は、平日（月から金）だけでなく、休日も課題である。
- 授業で自分の考えがうまく伝わるように、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表することは、小中ともに全国平均を大きく下回っている。

【学校に対する調査から】

- 「校長として、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行った」と回答した学校の割合は、小中ともに全国平均を大きく上回っている。
- 「全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている」と回答した学校の割合は100%である。
- 児童生徒が授業において、資料や文章、話の組立などを工夫して、発言や発表を行うことは、中学校では全国平均を大きく下回っている。
- 児童生徒が、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることは、小中ともに全国平均を下回っている。

3 今後の重点取組

- 八代教育事務所では、市町教育委員会と連携しながら、今後、以下の項目の取組を進めていきます
 - 「授業改善に関する課題解決に向けた取組」
 - ・ 図や表を結びつけて自分の考えを説明したり、資料や文章、話の組立などを工夫して発言や発表を行ったりする学習活動を充実させる
 - ・ 授業の展開における「みとり（評価）」を確実に実施する
 - ☆ 子供は必然性を感じながら、自分の考えを広げたり深めたりしているか？
 - ・ 授業の終末における「みとり（評価）」を確実に実施する
 - ☆ 子供は学んだことを整理し、理解しているか？
 - 「家庭学習に関する課題解決の取組」
 - ・ 子供が自分で考えて行う自主学習（復習、予習等）への教科書の活用を図る
 - ・ 授業と家庭学習をつなげ、家庭学習の「みとり（評価）」をチームで継続して行う
 - 「その他の取組」
 - ・ タブレット等のICT機器を、授業で児童生徒が他の友達と意見を交換したり、調べたりするためのツールとしての活用を更に図る
 - ・ すべての教育活動において、「熊本の教師の心がけ10か条」を踏まえた指導等を行い、安心と信頼にあふれ、高め合う学級づくりを行う